（４ 安全なまち豊橋）　　８時間完了・教科書（下 p.20～33）　副読本（p.77～84）

②事故・事件からくらしを守る

・教科書と副読本で行う。基本的に副読本を使って豊橋の警察署の仕事を学習し，一般的な補助資料として教科書を活用する。

指導計画

	東京書籍		副読本「かがやく豊橋」
	本時の学習	○おもな学習活動　・内容	●おもな学習活動　・内容 ◇指導上の留意点
つかむ	①あ，あぶない P20～21 （1 時間） （副） こわい事故 P77～78	**○自分が「ひやっ」とした時の経験を振り返り，それらを整理してわかったことを話し合う。** ・自分が歩行者の時，自転車に乗っていたとき，車やバスに乗っていたときなど。 ・自分が被害にあいそうになったときと人にけがをさせそうになったとき。	**●P78 のグラフや表を見て，豊橋ではどのような事故が起こっているのかを話し合おう。** ・1 年に 3000 件以上の事故が起きている。 ・出会い頭の事故が多い。 ・死亡者数は少しずつ減ってきているね。なぜかな。 ◇豊橋市の交通事故発生状況 http://www.ankyo-toyohashi.jp/hassei/index.html
調べる	②事故がおきたら P22～23 （1 時間）	**○事故現場の写真などを手がかりとして，たくさんの人が，どこから，どれくらいの時間で集まってくるのかを調べる。** ・働いている人たちは，どうやってここで事故があったことを知ったのだろう。 ・事故現場で働いている人の制服がちがうね。 ・事故がおこってからどれくらいの時間でかけつけることができるのかな。 ・事故の知らせは，通報を受けた県の警察本部から関係するところへ連絡が回り，お互いに協力し合って対処している。	**●　P82 を読んで，豊橋市で事故が起こったときの連絡の様子を読み取ろう。** ・110 番は通信司令室にかかるんだね。 ・通信司令室から現場近くのパトカーや警察署などに無線で連絡する。 ◇ｐ８２「市内の駐在所と交番」の表を見て、自分たちの校区にある交番の位置を確認する。
	③自転車のきまり P24～25 （1時間） （副） 交通事故をふせぐ努力　p79 法やきまり　p80	○どのような自転車のきまりができたのかを調べ，その理由を考える。 ・みんなが不便になるのではないか。 ・困っている人がいたのだろうか。 ・社会の変化や地域の実態にそくして，より安全なまちづくりのために，法やきまりがつくられている。	**●P80「自転車に安全に乗るための５つのやくそく」を読み、きまりができた理由を考えよう。** ・道路交通法という法律があるんだね。 ・　交通事故を少なくするためにつくられたきまりなんだね。 ◇ｐ８０「道路標識クイズ」に取り組み、それぞれの意味とひと目でわかる工夫についてもふれる。
	④⑤けいさつの仕事 P26～27	○　地域社会で見かける警察の仕事を調べる。	**●　P81，82，79を読んで，豊橋警察署の仕事を調べよう。**

	（2時間） （副） **警察の仕事** **p81～p82**	・警察の安全相談室や交番で働いている人はどんな仕事をしているのかな。 ・サイレンを鳴らしていないパトロールカーや白バイをみたことがあるよ。 ・警察の人が，商店街で店の人やお客さんと話をしていたよ。 ・警察の人は，わたしたちの生活の安全を守るために，地域社会の中でいろいろな活動をしている。	・交通課や地いき課などいろいろな課が活動しているんだね。 ・交番や駐在所にいる警察官も地いきの安全を守ってくれているんだね。 ・学校でやった自転車安全教室は交通課の人がやってくれているんだね。 ◇愛知県警豊橋警察署ホームページ http://www.pref.aichi.jp/police/syokai/map/toyohasisyo.html
	⑥安全なまちづくり P28～29 （1時間） （副） **地いきの取り組み** **P83～84**	○人々の安全を守るために努力している地域社会の人々の活動について調べる。 ・警察でもないのに１１０番とかパトロールとかの看板がある。 ・地域の人が毎朝立ち番に立っている。 ・いろいろな知らせを，学校のみんなや家族の人と知らせあうことが重要。 ・わたしたちの安全は，関係諸機関と協力した地域社会の人々のいろいろな活動によって守られている。	**●Ｐ83，84を読んで，地域の人々の活動について調べよう。** ・登下校のときに交通指導員さんが立ってくれているね。 ・こども 110 番の家が近くにあると安心だね。 ・青パトの車を見たことがあるよ。地域見守り隊の人なんだね。 ◇交通指導員さんや地域見守り隊の方にお話を聞いたり、交通安全運動の期間にどのようなことをしているか調べたりして、いろいろな人の協力で安全が守られていることに気づかせる。
まとめる・いかす	⑦⑧まちの安全マップをつくろう P30～31 （2時間）	○交番，こども110番の家などの防犯のための工夫がある場所や危険だと思う場所を調べ，自分たちのまちの安全マップをつくる。 ・いつも前を通っていた道にこども110番の店があった。 ・まちの安全を守るための工夫がいろんな所にあるが，そこにある理由は何か。 ・危険だと思う場所，なぜその場所を危険だと思うか。 ・地域社会の人たちは，安全なまちづくりのための活動を行ってきた。 ・地域の様子をよく知っておくことが，安全を守ることにつながる。 ○今の自分たちにでもできることを提案し実行する。 ・今の自分でもできることがあるはずだ。 ・安全マップをみんなに知らせ，まちの安全をみんなで守ろう。	**●Ｐ83 のこども 110 番の家の地図を参考にして，自分たちの校区の安全マップをつくろう。** ・通学路にあるガソリンスタンドはこども110番の店になってくれていたよ。 ・事故が起こったり，車の交通量が多かったりする所もわかるといいね。 ・出来上がった地図を○○に掲示して、みんなにも伝えよう。 ◇校区防災マップ